

会 議 結 果 報 告

会 議 名	前橋市社会福祉審議会 令和7年度第1回地域福祉専門分科会
日 時	令和7年12月18日(木) 午後2時00分～午後3時20分
場 所	前橋市役所 3階 33会議室
出 席 者	<p>【委員】 荻原委員、高橋委員、塩崎委員、山田委員、山口委員、（上野委員、鳥島委員、石川委員、黒澤委員欠席）</p> <p>【オブザーバー】 金井策定 WG 委員長</p> <p>【事務局】 吉野福祉部長 社会福祉課 本間課長、中山副参事、須藤副主幹、太田副主幹</p>
傍 聴 人	なし
開催趣旨	次期地域福祉計画素案について、市から審議会へ諮問し、当分科会での審議を始める。
資 料	資料1 (仮称) 第3次前橋市地域福祉計画(案) 資料2 (仮称) 第3次前橋市地域福祉計画概要版(案) 資料3 (仮称) 第3次前橋市地域福祉計画(案) パブリックコメントについて
結 果	<ul style="list-style-type: none"> ●素案について、体系図の追加等、今回の議論を踏まえて修正を加える。 ●修正を加えた素案をもってパブリックコメントを実施する。
審議会の 主な発言内容	<p>【部長あいさつ】 皆様には地域福祉の推進、計画の策定にご尽力いただき感謝する。次第のとおり計画案の諮問についてとパブリックコメント実施について議論いただく。忌憚ないご意見をいただきたい。</p> <p>【第3次前橋市地域福祉計画の諮問について】</p> <p>事務局 資料に基づき説明</p> <p>塩崎委員 ・これまでも原案を見せていただいたり意見交換会があったり、委員の皆さんからも意見をいただいた。それを踏まえて修正した主な部分を説明いただけるか。</p> <p>事務局 ・SDGsに関する記述を、Chapter2からChapter1に移動した。 ・Chapter2について、地域福祉計画の概要とする項目だったが、基本理念を示すことがわかるような表記とした。 ・データについては、わかりやすい表現や見やすい表記方法に直した。</p>

- ・市民ワークショップについて、市民の意見を取り入れていることが十分に伝わるよう強調した。
- ・ワーキンググループの取り組みも、今回の策定経過の特徴的な部分なので見出しを強調した。
- ・基本理念について、思いが伝わりやすくなるよう、その思いをはじめに記載した。

塩崎会長

- ・当初の案からずっと整理されたと感じている。
- ・今回の計画策定経過のアピールできる点として、市民ワークショップ、ワーキンググループでの検討と庁内意見交換などがあり、これが強調されるのはいいことと思う。行政だけ、担当課だけが策定したのではなく、市民も巻き込み、庁内でも横の広がりも作って策定できたのは良かった。

金井 WG 委員長

- ・だいぶ整理はされてきたが、今までの計画とは作りが違うので、全体を見たときに、ここが計画の肝である、というのが見えにくいと感じている。

3つの方向性は、ここが計画なのか、計画を進めるための方向性なのかかわかりにくい。

今までの計画のイメージで言うと、例えば方向性1の計画は、「検証と評価」の項目に、視点1・2・3とあり、これが市としてやっていくところだ。だが、今回は検証と評価の視点なので、必ずしも計画という意味にならない。どれが計画なのか、端的に示せる俯瞰図のようなものがない。

- ・計画の肝になるのは、Chapter2の基本理念、Chapter3の方向性。Chapter3は計画の本体なのに、ボリュームが少なく、インパクトが弱い印象を受けた。
- ・地域福祉活動計画と切り離した過程の説明がない。

事務局

- ・地域福祉活動計画については、31ページに説明を加えているので前段には記述しなかった。

金井 WG 委員長

- ・前は一体の計画だが、今回は分けたほうが良いということになった流れが腑に落ちなかった。後で見直していただければと思う。

- ・13ページ最後の段落「行政や企業」は違和感がある。福祉サービス事業者がよいのではないか。

- ・アンケートの質問2の回答結果では、防犯、経済、災害が上位で、介護が非常に低いという市民意識になっている。前半のデータで見る情勢変化では、介護需要は大きく大変な課題、と書いている。アンケートを取った時期の情勢に回答が引き寄せられていると思う。計画を見て誤解してしまう恐れもあるので、注釈が必要ではないかと思った。

塩崎委員

- ・見せ方について、基本理念のところはまずは見てもらいたいところであるが、構成の順序もある。

- ・市民がこの計画を見るときは、ネット上で見るのか。

事務局

- ・ホームページで公開する。製本されたものも用意するが、部数に限りがある。

・概要版も作るので、その中では、市がやっていきたい部分を抽出して強調することは考えたい。

塩崎委員

・アンケートで介護に対する意識が低い点については、高橋委員はどう感じるか。

高橋委員

・核家族化が進んで、1人暮らしや老老世帯、認知症や障害を持っている方も増えている中では違和感はある。

・介護従事者にも外国人が増えている。言葉の壁や地域の担い手の問題もあり、計画期間の5年間においてさらに増えるだろうから、もう少し触れてもいいのかなと感じた。

事務局

・外国人の関係では、方向性2の20年後の目指す姿のところに、盛り込ませていただいた。

山口委員

・計画の構成について、一つ一つ見ていくという作業が必要になってしまうという印象。例えば39ページに図があるが、ページをめくっていかないと見づらい。体系図のような形で、基本理念から方向性以下につながる全体図があるとわかりやすいと思う。

塩崎委員

・体系図に加え、地域福祉活動計画につながっていくというのを示したほうがいい。

荻原委員

・今年度から議論に加えさせていただいている者の視点とすると、ざっと見ただけではわかりにくいと感じた。わかりやすくまとめていただけるとよい。

山田委員

・私のような視覚障害者としては、長い文章が苦手だと思うので、ガイドブックのようなものにまとめていただけると興味を持てると思う。

事務局

・現時点で考えたのは、12ページ⑨の部分で介護の意識に関する見解と外国人が増えている点について説明を加えると、本日のご指摘を反映できるかと思っている。

・アンケートについては、前回の回答年齢層が比較的高かったので注意が必要。さらに選択が2つまでという設問で社会情勢も事情として加わった。

塩崎会長

・そのような事情を記述すればよいのではないだろうか。

・概要版はいつ示されるのか。概要版と本編では見るイメージが違うので、パブコメで使用するのであれば、できれば各委員にも事前に見てもらいたい。

金井 WG 委員長

・パブコメでも、概要版に対する意見をもらうのか。

・概要版だけに意見が出されたとしても、本編の修正が必要になってしまうのではないか。

事務局

- ・パブコメでは概要版と本編を示す。
- ・概要版に対する意見としても、内容は同じものなので、本編に対しても参考とする。

概要版を資料として追加配布

金井 WG 委員長

- ・やはり、基本理念と方向性がセットになっていたほうがわかりやすい。
- ・視点が計画の本体だと思う。本編では、視点が評価に位置付けられているので、概要版と齟齬が生じていないだろうか。
- ・本編は、基本理念と方向性としてまとめ、そのあと、視点に基づく施策として計画本体とするのがいいのではないか。

塩崎会長

- ・本編の並べ替えと、体系的な整理をしてからパブコメを開始していただきたい。

【第3次前橋市地域福祉計画のパブリックコメントの実施について】

事務局

資料に基づき説明

塩崎会長

- ・提出された意見に対して、考え方をまとめたものはいつでき上がるか。

事務局

- ・2月中か3月初旬となる。

【塩崎会長あいさつ】

- ・今日が当分科会としては第1回だが、それまでの間に情報をいただいたり意見交換会があったり、いろいろなかかわりをさせていただいたので、深い議論ができたかと思う。
- ・市民の声も聴き、行政内部も横のつながりをもって、ここまで進められたことは委員としても誇らしいこと。
- ・本日の会議は終わるが、市民が自分ごとととらえられるような計画に近づけるよう、各委員におかれては引き続きお願いしたい。
- ・金井 WG 委員長と事務局にも、広く意見を聞こうという姿勢に感謝する。